

令和7年度 第3回 飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会 会議議事録

日時：令和8年3月27日（金）

午前10時00分から10時45分まで

場所：飛島村役場 2階第3会議室

○事務局 早川

定刻になりましたので、ただいまから令和7年度 第3回 飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会を始めさせていただきます。私は、事務局を務めさせていただきます、企画課長の早川と申します。よろしくお願いいたします。

始めに、資料のご確認をお願いします。事前に委員の元に配付させていただきました資料として、会議次第、資料1として飛島公共交通バス利用実績推移、議案第1号として飛島公共交通バス定期券及び回数券のデジタル化について、議案第2号として令和8年度事業計画（案）・収支予算（案）についてでございます。

その他の机上配付の資料として、配席図がございますので、ご確認ください。事務局で予備をご用意しておりますので、不足等ございましたらお申し出ください。

なお、本日の会議には、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの担当者を出席させていますので、よろしくお願いいたします。

本日の会議は、全委員22名中、17名の委員にご参加をいただいております、定数の過半数を超える委員のご出席をいただいておりますので、当協議会の設置要綱に定める会議としての成立要件を満たしていることを申し添えます。また、当協議会は、公開となっておりますことを報告させていただきます。

それでは、当法定協議会の会長であります飛島村長から、ごあいさつを申し上げます。

1. あいさつ

○加藤村長挨拶

おはようございます。本日は、ご多用なところ、飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会にご出席いただき厚く御礼申し上げます。

日頃から、地域の公共交通事業の推進につきまして格別のご指導、ご鞭撻を賜っておりますことに対して、委員の皆様には重ねて感謝申し上げます。

さて、本日は、報告事項1件と、議事が2件ございます。

バスの利用者につきまして、蟹江線においては平成21年度の運行開始以降で、昨年度に続き過去最高値に達する見込みです。また、名港線につきましても、前年度より増加となる見込みです。

令和7年10月1日のダイヤ改正以降も大変多くの方にご利用いただいております、鉄道のない本村において、公共交通バスは交通インフラとして大変重要な役割を担っております。

今回は、バス利用者の利便性を向上させるため、デジタル定期券・デジタル回数券の導入について委員の皆様にご審議を賜り、住民の皆様をはじめ通勤される方にとって、利用しやすい公共交通を目指していきたいと考えております。

この法定協議会を通じ、皆様方の専門性のご経験をもとに、忌憚のないご意見を賜り、安全・安心で利便性が高く、かつ持続可能な公共交通となりますよう祈念を申し上げ、開会のごあい

さつとさせていただきます。

○事務局 早川

ありがとうございました。次に、当法定協議会座長の嶋田先生にごあいさつをお願いしまして、ごあいさつ後は、座長の嶋田先生に会議の進行をお願いしたいと存じます。

○嶋田座長

おはようございます。座長を仰せつかっております大同大学の嶋田でございます。

本日の協議会は、今年度の最後の協議会となります。委員の皆様には、今年度の締めと来年度に向けて忌憚のないご意見をいただければと存じます。

まず、会議に入る前に、本日の議事録署名人を選任させていただきます。

議事録署名人に、「偕行会リハビリテーション病院事務長の赤坂様」と「三重交通株桑名営業所長の中川様」をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。会議終了後、議事録がまとまりましたら、事務局からお送りしますので、ご署名をお願いします。

2. 報告事項

(1) 飛島公共交通バス利用実績について

○嶋田座長

次に報告事項に入ります。それでは、事務局より資料説明をお願いします。

○事務局（資料1）

資料説明

○嶋田座長

事務局の報告が終わりました。委員の皆様で、ご意見・ご質問がございましたら、挙手にてお願いします。

○嶋田座長

名港線は、平成27年度が過去最高でしたが、コロナ禍を経て回復傾向にあります。また、蟹江線は、過去最高となっています。名港線は、働き方の変化等の影響もあり、過去の最高実績には届かないものではないでしょうか。回復状況についての認識を伺いたしたいと思います。

○事務局 早川

座長の嶋田先生のご指摘とおり、名港線については、働き方の変化等の影響を受け、コロナ禍前までの実績までは、回復に至っていない状況です。名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会の懇談会や担当者会議においても、公共交通の利便性向上に係るご要望をいただいておりますので、今後も継続的に通勤手段として公共交通をご利用いただけるものと想定はしております。このことから、名港線の利用者数は回復傾向にあるものと認識しています。

○加賀谷委員（国土交通省中部地方整備局名古屋港湾事務所長）

通勤で利用されている方のイメージを伺いたしたいと思います。定量的な数値が分かればお教えいただきたいです。

○事務局 早川

定量的にご説明をすることは難しいですが、イメージとしましては、通勤の利用が多い路線です。最近、外国人の方の利用も増えてきている状況にあります。蟹江線は、住民の利用が多く、名港線は企業の通勤の利用が多い状況にあります。

○嶋田座長

蟹江線の学生の割合については、どれくらいか。

○事務局 早川

すぐに具体的に何割と明確にお答えできません。申し訳ございません。現在、企画課で通学定期券等の窓口販売を臨時で行っていますが、臨時販売では定期券のうち3割程度の方が通学定期券をご購入いただいていると思われま

<事務局追記>

会議後、数値を確認しましたところ、蟹江線における通学定期の利用割合は、すべての定期券利用者のうち62.28%でした（令和7年度実績）

○嶋田座長

通学や通勤の利用が多いということで理解しました。

○嶋田座長

他によろしいでしょうか。次の議事に入ります。

3. 議事

●議案第1号 飛島公共交通バス定期券及び回数券のデジタル化について

○嶋田座長

「3. 議事」に入ります。議案第1号「飛島公共交通バス定期券及び回数券のデジタル化について」を事務局から説明をお願いします。

○事務局

資料説明（議案第1号）

○嶋田座長

ありがとうございました。委員の皆様で、何かご意見、ご質問等があれば、挙手にてお願いします。

○脇田委員（名古屋市住宅都市局都市計画部交通企画・モビリティ都市推進課長）

デジタル化の内容について、名古屋市も法定協議会を運営している立場として参考までにお伺いしたいと思います。定期券及び回数券に関して、議案として「決」をとる必要があるかをお伺いしたいです。

利用者の利便性に関する事項なので、議案として挙げて「否」となることはないと思いますが、議案としてあげる必要性があるのでしょうか。予算等について何らかのしぼりがある

議案として提出しなければならないという理解でしょうか。やらなければならないから議案としているのか、いろいろな意見を踏まえたうえで、委員の皆様の了解を取りたいのかをお伺いしたいです。

○事務局 早川

デジタル定期券・回数券については、飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会補助金の予算として、飛島村議会の3月定例会でご承認をいただいています。この法定協議会においても大きなトピックでありますので、委員の皆様のご理解とご意見を伺った上で、この事業を進めたいという考えに基づき、議題として提出をさせていただいております。

○脇田委員（名古屋市住宅都市局都市計画部交通企画・モビリティ都市推進課長）

私達も法定協議会を運営する側として、議題にあげるべきか迷うところがあり、発言させていただきました。

○上田委員（飛島村議会議長）

三重交通㈱の自主路線において、デジタル定期券の利用は、どのような割合かをお聞きしたい。デジタル化の動きについても教えていただきたい。

○事務局 早川

三重交通㈱の桑名営業所の中でも、本村の取り組みは先進的なものであると伺っています。

○中川委員（三重交通㈱桑名営業所長）

比率的なものは、データを持っていないため、お示しすることができません。申し訳ございません。三重交通でもデジタル乗車券はまだ一般的なものではありませんが、伊勢地域では周遊事業をデジタル化する等、企画乗車券で活用しています。個々の路線バスでは、今のところ交通系 IC カードやクレジットカードが多いです。画面で表示する形式は、あまり進んでいないと感じています。今後は、進めていくべきだと思っています。

○脇田委員（名古屋市住宅都市局都市計画部交通企画・モビリティ都市推進課長）

一般的な通勤や通学でデジタル券は使われていない印象であります。名古屋市では、マナカがありますが、名古屋で運行開始した SRT などでは、1 日乗車券や堀川クルーズなどのコラボレーションとして企画乗車券があります。他のものと組み合わせて、マナカではできないときに、デジタル回数券を活用することはあります。近隣地域では、なかなか無い印象です。

○小田委員代理（原田委員：国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官）

県内では、コミュニティバスで、画面表示型のデジタル形式等の導入を試みる例は少しずつ導入されています。3~4 年前から少しずつ見られている状況にあります。名古屋市や名鉄バスのエリアでは、マナカを使っており、愛知県内は交通系 IC カードが主流だと思います。県外にいくと、まだ紙のところもあり、それをデジタルに移行するには、方法の 1 つではないかと思えます。

議案の件については、公共交通計画の策定、フィーダー系統などの補助金や評価等に関しては議決をいただき、協議が整っていることを書面にて提出する必要があり、必須事項でありま

す。地域公共交通の方針を決める場合についても、交通会議の場で、委員の皆様に議論をしていただきたくことは良いと考えています。運輸局からは、どの議題を議決にすべき、あるいはすべきではないという基準は示していません。事務局から説明があったように、各委員の皆様のご意見を踏まえて地域公共交通の方針を決めていただければと思っています。

○脇田委員（名古屋市住宅都市局都市計画部交通企画・モビリティ都市推進課長）

アプリにて申請から購入をするまでとご説明いただきましたが、今後の紙の定期券等の取扱いについても伺いたいです。

○事務局 早川

当面の間、紙の定期券・回数券も併用する方向で調整することを考えています。

○嶋田座長

出張販売は、どこでされていますか。

○事務局 早川

この時期（3月下旬から4月上旬）には、飛島村役場で臨時販売を実施しています。他には、蟹江線の利用者向けには、近鉄蟹江駅付近にあります、山田屋や、名港線の利用者向けには、公民館分館・地下鉄名古屋港駅でも出張販売を実施しています。三重交通(株)桑名営業所では、恒常的に販売を実施しています。

○徳田委員代理（小林委員：公益社団法人愛知県バス協会専務理事）

私は、九州でデジタル回数券を使う機会があります。今回の仕組みにおいて、スマホを交換した際にどう扱うのかが気になるのと、私が利用しているデジタル回数券であれば「もぎり」があるが、日付と時間が示されると運転手さんにわかるようになりますが、運転手はその都度確認するにはハードルが高いかもしれません。また、有効期限の設定をするように気にしていただくと良いと考えています。

○事務局 早川

詳細につきましては、運行事業者である三重交通(株)と協議中であり、現在、調整中です。次回の6月の法定協議会で委員の皆さんに詳細な取扱いをお示しすることを考えています。

○嶋田座長

現在の画面は、最終の形ではないと理解しています。可能であれば、運転手が見やすいように、カウントダウンされる時刻の表示を大きくした方が良いと思います。

○加賀谷委員（国土交通省中部地方整備局名古屋港湾事務所長）

蟹江線は、通学・通勤の方が多くとお聞きしましたが、海外の方も利用されているとお聞きしています。海外の方も、紙の定期券を購入して利用されているのでしょうか。

○事務局 早川

海外の方も紙の定期券を通勤として利用されているケースはあると聞いています。

○加賀谷委員（国土交通省中部地方整備局名古屋港湾事務所長）

今までで、海外の方が紙の定期券を購入する際に、何かトラブル等は生じていないか。

○事務局 早川

そういったトラブルは把握していません。

○加賀谷委員（国土交通省中部地方整備局名古屋港湾事務所長）

それであれば問題ないが、多言語表記などを考えられると良いと思いました。

○嶋田座長

今回のデジタル化について、運賃料金部会の開催について愛知運輸支局様にご確認いただきたい。

○小田委員代理（原田委員：国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官）

運行事業者である三重交通様から提出されている内容に変更が生じる場合に、運賃料金部会の開催が必要になると考えています。今回については運賃の変更がないので、届け出の対象ではないと考えます。そのため、運賃料金部会での協議も必須ではないと思われま

○嶋田座長

議案第1号 飛島公共交通バス定期券及び回数券のデジタル化について、賛成の方は、挙手でお願いいたします。

<挙手多数>

○嶋田座長

賛成多数でございますので、議案第1号を承認とさせていただきます。

●議案第2号 令和8年度飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会事業計画（案）・収支予算（案）について

○嶋田座長

次に議案第2号「令和8年度飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会事業計画（案）・収支予算（案）について」を事務局からの説明をお願いします。

○事務局

資料説明（議案第2号）

○嶋田座長

ありがとうございました。委員の皆様で、ご意見・ご質問等は、ありますでしょうか。

○徳田委員代理（小林委員：公益社団法人愛知県バス協会専務理事）

3月に実施されたイベントの際に多くの方が利用していただいたとすると、3月の利用者数

が上振れすると思うが、あまり数字には表れないのだろうか。そのあたりの傾向が分かれば教えていただきたい。

○事務局 早川

3月22日に実施されたイベントについては、前年度に比べて約300人の方が、前年度より多く乗っていただいたため、3月の利用者数が若干多くなると思われま

○徳田委員代理（小林委員：公益社団法人愛知県バス協会専務理事）

イベントがあると数字への影響が大きいですが、普段からの利用が多いため、数値への影響が少なくないと理解してよろしいでしょうか。

○事務局 早川

そのとおりです。

○野田委員（名古屋タクシー協会専務理事）

デジタル化の手数料については、どの予算科目で計上しているのかを教えてください。

○事務局 早川

議案第2-1号の「支出」中にあります「2款1項5目委託料」で計上しています。

○脇田委員（名古屋市住宅都市局都市計画部交通企画・モビリティ都市推進課長）

名港線・蟹江線に係る費用であるため、そちらに含めているという理解でよろしいでしょうか。

○事務局 早川

デジタル定期券等の手数料については、三重交通㈱で管理されているため、三重交通㈱への委託料に含めることとしています。

○嶋田座長

特にご意見がなければ、議案第2号 令和8年度飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会事業計画（案）・収支予算（案）について、賛成の方は挙手をお願いいたします。

<挙手多数>

○嶋田座長

挙手多数でございますので、議案第2号を承認とさせていただきます。

4. その他

○嶋田座長

以上で、予定されていた議事は終了しましたが、最後に「4.その他」として、事務局から何かありますか。

○事務局 早川

事務局からは、先ほどもご説明しましたが、本日ご承認をいただきました飛島公共交通バスのデジタル定期券・回数券等の準備を進めていき、6月の法定協議会でご説明をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

○嶋田座長

ただいまの報告について、ご意見・ご質問がありましたら、お願ひします。

他に、委員の皆様から全体を通して、何かありますでしょうか。

無いようですので、議事進行は終了とさせていただきます。それでは、進行を事務局にお返しします。円滑な進行にご協力をいただき、ありがとうございました。

○事務局 早川

嶋田先生、ありがとうございました。

今後についてお知らせします。次回の法定協議会は、6月頃を予定しています。時期が近づきましたらご連絡をさせていただきますので、よろしくお願ひします。

以上で、第3回飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会を終了します。お帰りの際には、交通事故等に十分に気をつけてお帰りくださるようお願ひいたします。

本日は、誠にありがとうございました。